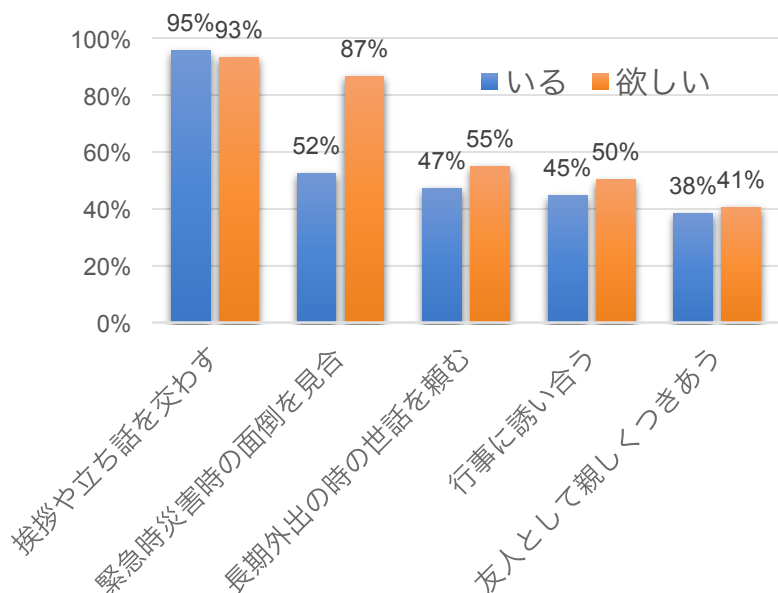


● ご近所との付き合いは、あったら声をかけあう関係。緊急時の支えあいへのニーズは高い。



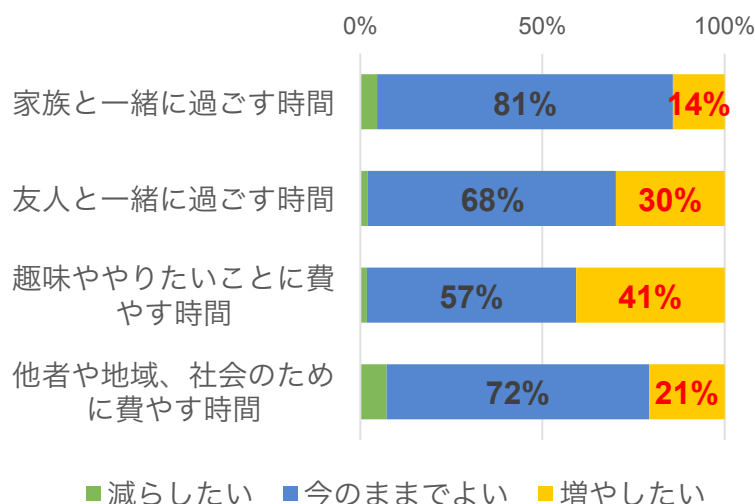
ほとんどの方は、近所の人と「挨拶や立ち話を交わす」お付き合いをしています。

一方で「緊急時・災害時の面倒を見合う」つきあいは、9割近い人が望んでいるのに、実際にそのような方がいるのは5割。

大きなギャップがあることがわかりました。

いざという時に頼りあえる関係は、一朝一夕には出来ません。ちょっと変えていく必要がありそうです。

● 「趣味の時間」「友人と過ごす時間」「地域・社会のための時間」を増やしたい



少なからずの方が

「趣味ややりたいことに費やす時間」

「友人と一緒に過ごす時間」

をもう少し増やしたいと思っています。

また、「他者や地域、社会のために費やす時間」についても2割の方がもう少し増やしたいと思っていることがわかりました。

身近なところに、自分の趣味や好きなことをする場所があって、好きなことをとおして地域の人とつながる暮らし。そんな暮らしが、「いざという時にも頼れるまち」をつくるのかもしれません！

● まちのために1ヶ月に割ける時間は・・・回答を足し合わせると、2598時間！

地域の暮らしを良くするために、あなたには1ヶ月にどのくらいの時間を割けそうですか？多かったのは1時間から2-3時間。「月に1日、午前中だけなら」「週に1回、15分なら」地域のために何かできるかも。そんな声を集めたら…**2598時間**！みんなの時間を集めたら、これまでなかった何かが起きそうです。

